



開物成務

令和7年9月17（水）発行

校長 大越 泰子

知ることで見方が変わる

41日間の夏休みを終えて、学校に子どもたちの元気な声が帰ってきました。久しぶりに見ると一回り大きく、たくましくなったように感じます。外見だけではありません。休み中の経験や休養が内面にもよい影響を与えていることでしょう。

始業式で「今年は戦後80周年の節目の年」という話をしました。「聞いたことがある人？」と尋ねると、意外に少ないことに驚きました。情報が簡単に手に入る時代ではありますが、自分から興味をもって調べなければ届かないということを感じました。そこで私は、「知ることで見方が変わる。」という話をしました。私たちが学ぶ意味はそこにあると思っています。知ること、学ぶことで、自分の身の回りの物や社会のことについて興味がわいたり、今までとは違った見え方ができるようになったりすると思います。

2学期は、授業も充実しますし、様々な行事や活動が予定されています。ぜひ、興味や関心をもって、様々なことを学んでほしいと願っています。

3年生消防署見学

9月9日（火）は「救急の日」です。

ちょうどそのタイミングに合わせるかのように、3年生が南足柄にある「足柄消防署」に見学に行きました。普段、入ることができない、消防署の内部を見学させていただき、食堂やトレーニング室、仮眠室などがあることを知りました。火事がない時もトレーニングをして体を鍛えるなど、いつ出動要請がきてもすぐに対応できるよう、日頃から準備していることなどをお話していただいたそうです。教科書や、インターネットで調べれば分かる知識もあります。しかし、酸素ボンベを背負わせてもらったり、そこで実際に働いている人の思いや苦労を直接お聞きしたりした体験は、子どもたちの記憶に強く残ることでしょう。



5年生の稲刈り 9月11日（木）

今年は各地で水不足が心配されていましたが、開成町は網目のように張り巡らされた文命用水のおかげで、どの田も立派な稲穂が実っています。1学期に田植えをさせていただいた鳥海さんの田んぼも、一面の黄金色をしていました。当日は暑かったので短い時間での体験となりましたが、腰をかがめた状態で手作業での稲刈りをとおして「暑い」「疲れた」だけでなく、農家の人々の苦労に思いを馳せ、収穫の喜びを感じてくれたらよいと思います。鳥海さんも「今こういう時代だからこそ、地域での実感を伴った体験活動が子どもたちの成長につながる」と言って協力して下さっています。体験と学びをつなげる教育をこれからも大切にしていきます。



校内研究会 4年2組 道徳科「ロレンゾの手紙」

9月10日(水)の5時間目に授業研究会を行いました。「20年ぶりに友人(ロレンゾ)から「会いたい」という手紙が幼馴染の3人の元に届く。しかしそのロレンゾが犯罪をおかしているという噂を聞き、3人はどうしたらよいか話し合う。」という話です。その場面から、「自分だったらどの考えを選ぶか」「それはなぜか」について話し合う学習でした。「そのままお金を渡して逃がしてあげよう。」「悪いことをしたならきちんと警察にいて、反省させるべきだ。」「それは友達として冷たすぎるのでは。」など、「**友達のことを思う**」といっても立場が違えば、意見は異なりました。4年生の子どもたちにとっては少し難しい話だったかもしれませんが、大勢の参観者の前で緊張しながらも熱心に考え発言する姿に感心しました。

ありがとうございました

9月5日(金)は、台風に伴う大雨により、周辺市町共通して下校時刻を早め、給食後下校の対応となりました。1番雨の強まる時間帯ではありましたが、全校で一斉に下校すること、教職員が途中までつきそって安全確認をしながら下校させることで、児童の安全を確保することとしました。また、お迎えに来られる方はマチコミでご連絡いただき、子どもとの待ち合わせが確実にできるようにしてみましたが、結果的には時間帯が集中し、周辺道路まで渋滞してしまいました。お待たせした方々にはご迷惑をおかけしました。今回のことを教訓に、よりよい方法を検討していきます。今後ご理解ご協力をよろしくお願いします。

本を寄贈していただきました

南足柄市にお住いの西條様より、県西地区2市8町に100冊の本の寄贈があり、本校にも3冊いただきました。著者のサヘル・ローズさんはイラン出身の俳優です。ご自身の生い立ちから現在の活動に至るまで、そこで得た考え方やメッセージがわかりやすい言葉で書かれています。図書室に配架しますので、ぜひ読んでみてください。

題名「これから大人になる

アナタに伝えたい10のこと」

著者 サヘル・ローズ

校長室の窓から

夏休み最後の日曜日の8月24日、本校のコーディネーターであり、自治会長でもある小砂さんの呼びかけにより、校地内の清掃活動が行われました。「新学期を子どもたちにきれいな環境でスタートさせてあげたい。」そんな思いから企画していただきました。夏休み中のグラウンドは草が伸び放題でした。写真のようにたくさんの方のご協力により、1時間半の作業時間で見違えるようにきれいになりました。なかには、小学生だけでなく、中学生や、「私が通っていたころはね～」と大先輩の方々もいて、懐かしい校舎を思い出しながら共に汗を流しました。作業終わりにどなたかが、「せっかくだから



記念写真を撮ろうよ。」と呼びかけてくださって 左の写真となりました。やり遂げた充実感と汗で、皆の笑顔が輝いています。おかげさまできれいな環境で新学期をスタートすることができました。「このような方々に支えられている学校なのだ」と改めて実感しました。ありがとうございました。